



大井町議会だより

2016.2.1

No.186

ひた たろう

定例会(第4回) 2

12月9日・10日の2日間

一般質問 **ここが聞きたい(6人)** 6

議員研修・表彰 9

町のこの人あの人 10

体育会として初めて神奈川県

体育功労者賞を受賞

新宿自治会 体育会



いざ どんど焼きへ!!

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp / URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp>

この広報は、再生紙を使用しています。

大井町第5次総合計画後期基本計画決まる

28年度からの向こう5年間の町づくり計画を承認

平成27年第4回定例会は、12月9日・10日の会期2日間で開催されました。

平成28年度からスタートする第5次総合計画後期基本計画をはじめ、8件の条例改正、3会計の補正予算などの審議を行い、全てを原案のとおり可決いたしました。

また一般質問は、6議員が登壇し、町政全般にわたり考えを質しました。

総合計画

大井町第5次総合計画後期基本計画
(賛成11・反対1)

*大井町自治基本条例第14条及び大井町議会基本条例第5条第1号の規定に基づき、議会の議決を経る計画。

問 5年間にわたる計画を全体的にみわたした財政的な考えはあるのか。
答 財政計画についても5年間の計画期間で、税

収、交付税等を見込んだ中で進めて行く。

問 ICカードの導入等、御殿場線の利便性向上と記載されているが、具体化してきたのか。
答 JR東海からの回答では前進はしていないが、引き続き要請はしていく。



大雄山線 緑町駅の無人改札

問 人口増は重要な課題として何処に記載されているのか。また、記載する必要がないと考えているのか。
答 総合計画の中に記載はないが、移住定住、空き家対策、婚活等の中で考えている。

問 電力をはじめとするエネルギーの地産地消の詳細について何う。
答 具体的案は出てきていないが、本町にあるメガソーラーからの供給について研究を始めた。

問 前期基本計画にはガイドボランティア育成があつたが、後期基本計画に記載がない理由は。
答 現在は、おおい自然園サポーター養成事業として実施しているため記載していない。

問 学校給食の食材に大井町産農産物の使用推進を掲げた理由は。
答 安心、安全な食材を子どもたちが喜んで食べて頂ける事業として推進していく。

問 マイナンバー制度を活用することで、行政の効率化、町民の利便性に努めるとあるが、評価をどのように示すのか。
答 重複業務の解消、事務処理の正確化、時間短縮等可能になる。これら

を評価するに際して数字化は難しいが、言葉では可能と考える。

条例

大井町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

大井町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*以上2件の条例改正理由は、地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律が平成28年4月1日に施行されるに伴い、所要の改正を行うもの。

議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
(賛成全員)
大井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

(賛成全員)

*以上2件の条例改正理由は、被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等を改正する法律の施行による地方公務員等共済組合法等の改正に伴い、規定の整備をするもの。

大井町条例の一部を改正する条例
(賛成11反対1)

*地方税等の法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い改正するもの。

問 町民税の減免を受ける申請が納期限前7日から納期限までに改正されるが、審査時間に支障はないか。
答 申請をされる方たちが理解しており、書類の不備がなければ時間も掛からないため、納期限であっても問題はないと考えている。

議会だより 第186号

問 平成28年度分の軽自動車税の税率の特例による、来年度の税収への影響及び周知の方法は。

答 平成27年度に登録した車のみを対象では減収となるが、軽自動車税全体では増収になると考えている。広報、HP等で周知する。

大井町保育所条例の一部を改正する条例

(賛成全員)

*職業能力開発促進法の改正に伴うもの。

大井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

(賛成全員)

*国家戦略特別区域法の改正に伴い、国の放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準が改正されたため、所要の改正を行うもの。

大井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部

を改正する条例

(賛成全員)

*国家戦略特別区域法の改正に伴い、国の家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準が改正されたため、所要の改正を行うもの。

補正予算

一般会計

(第4号)(賛成11・反対1)

*歳入は主に負担金、補助金、寄附金の増。歳出は給与費の減。修繕費、委託料等の増。補正額2885万5千円の増額。

問 歳出にてふるさと納税推進委託料として300万円を計上しているが返礼品等の業務内容は。

答 返礼品の手配から送付までを一括で業者に委託する。返礼品を出され

た方には業者からの支払いとなる。

問 消防事務委託料が大きく増額されている理由は。

答 予定していた定年退職者以外の普通退職者による増額等の計上である。

問 テニスコート用地買収の内訳と理由は。

答 スポーツ振興くじ助成金を受けるに当たり、南側にあるテニスコート内の国有地が存在すると補助が受けられないため買収する。買収予定面積は170㎡である。

問 テニスコート改修工事費に使われるスポーツ振興くじ助成金1253万3千円の算出は。

答 算定方法は、対象外の経費を除く補助率4分の3と評価の補正率を乗じた金額になる。

特別会計

国民健康保険

(第2号)(賛成全員)

*一般被保険者高額療養事業費の増額分を予備費から充当

人事

大井町固定資産評価員の選任について同意を求めること

(賛成全員)

*露木 辰夫氏の辞任に伴う後任者の選任。

意見書

*山崎 純司氏の辞職に伴う後任者の選任。

中條 政夫 氏
(新任 金子在住)

活動火山防災対策の強化を求める意見書の提出について

(賛成全員)

*箱根大涌谷の噴火は地域の人々の日常生活や経済活動に多大な影響を及ぼした。更なる噴火規模の拡大によっては、本町も当事者となり得ること。また、史実として富士山の噴火が本町に与えた被害等を考慮し、議員提案による活動火山防災対策の強化を求める意見書を国に提出することとした。

下水道事業

(第2号)(賛成全員)

*経常的一般管理費の増額分を予備費から充当



井上 仲治 氏
(新任 西大井在住)

大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること

(賛成全員)



活動火山防災対策の強化を求める意見書

国内の火山活動が頻発するなか、箱根町の大涌谷周辺では火山活動の活発化に伴う噴火警戒レベル引き上げ、警戒区域（立入規制区域）の設定により、住民生活及び地域経済に大きな影響を及ぼしました。

御嶽山の教訓を受け、火山防災活動に関する事前対策強化を打ち出した改正活動火山対策特別措置法が成立しましたが、国民生活に寄り添った中長期的対策の検討を行う必要があります。

よって、国及び政府は活動火山防災対策の充実強化のため、次の事項について必要な措置を講じられるよう強く要望します。

- 1 火山専門家を確保して火山活動の観測体制を十分なものとし、登山者、観光客、地域住民及び地方自治体への噴火情報等の情報伝達体制の充実・強化を図ること。
- 2 風評被害の防止に向け、国が指定する火山災害警戒地域に関し、的確な情報発信を行い、長期的な打撃を被る観光関連産業等に対する支援を行うこと。
- 3 活動火山噴火対策に関連する法律、制度は災害対策基本法をはじめ、災害予防、災害応急対応、災害復旧・復興など様々で、所管する省庁も多岐にわたっている。これが市町村業務を煩雑にし、対応が遅れる一因となっている。国として制度等を整理したうえで市町村がとるべき対応を一元化したマニュアルを作成すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成27年12月10日

神奈川県大井町議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 殿
総務大臣
国土交通大臣
内閣府特命大臣

審議した議案と審議結果

審議した議案と審議結果 (平成27年12月定例会)

○は賛成 ×は反対
清水豊司議長は、採決に加わりません。

| 議案番号 | 議案名 | 議員名(議席順)と審議結果 | 清水 亜樹 | 諸星 光浩 | 伊藤 奈穂子 | 曾根 田 徹 | 神保 京子 | 細田 勝治 | 伊田 徳之 | 瀬戸 和雄 | 北村 正夫 | 小田 眞一 | 片野 昭 | 石井 勲 | 鈴木 武夫 | 審議結果 |
|------|---|---------------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|
| 53 | 大井町第5次総合計画後期基本計画 | | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 54 | 大井町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 55 | 大井町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 56 | 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 57 | 大井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 58 | 大井町税条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 59 | 大井町保育所条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 60 | 大井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 61 | 大井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 62 | 27年度一般会計補正予算 | | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 63 | 27年度国民健康保険特別会計補正予算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 64 | 27年度下水道事業特別会計補正予算 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 65 | 大井町固定資産税評価員の選任について同意を求めること | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 66 | 大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 67 | 活動火山防災対策の強化を求める意見書の提出について | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |

町として公的支援ができない貧困家庭を把握しているか

答 本町の子ども貧困率は定かではない

細田 勝治 議員



問 行政として確認しにくいこどもの貧困に対して、町の今後の対策は。
町長 貧困は経済的困難だけでなく虐待やネグレクトの発生率にもつながる。本町では児童扶養手当、特別児童扶養手当、就学援助等を実施している。

問 親から子へと続く貧困の連鎖を断ち切る一つの手段として、奨学金制度を大幅に変えて給付型に変えていくべきだ。
町長 貧困と奨学金は別の問題だ。私は貸与でいいと思う。だが奨学金を使つてその人が立派になれば免除してもいいと考える。今後は成果主義で貸与するか返済するかを判断することが必要だ。

【大規模な自然災害への町の対応策について】
問 榛東村との相互応援協定に児童・生徒の受け入れがある。平時には交流の場があるのか。
町長 近隣の海への案内や東海大の練習船に乗ってもらう機会も作りたい。

問 想定を超える豪雨等の場合の避難基準を町はなぜ設定しないのか。
町長 河川の監視情報や巡視の危険情報を総合的に判断し、数値基準だけでなく状況を加味した中で判断する。

問 新耐震基準建築物を今年度中に90%にする国の目標があるが町の実情は。
町長 固定資産税台帳家屋課税ベースで58・7%。耐震化新築住宅が増えて耐震化率は上がっている。

問 耐震改修工事に伴い固定資産税2分の1の減額措置の狙いは何か。
税務課長 新耐震基準の木造建築物の耐震改修の促進である。

問 近年、悲惨な犯罪が増えてきている。町民の安心安全のため防犯対策として防犯カメラ等を設置する考えは。
町長 まずは防犯灯の設置を図っていく。一方で、防犯カメラは犯罪抑止に効果があると認識はしている。現在、国、県で補助金制度を検討している動きもあり状況を注視し対応していく。

犯罪防止のため防犯カメラの設置は

答 国・県の動きに注視し対応する

伊藤 奈穂子 議員



問 小・中学校等のグラウンドを夜間利用中に心停止が発生した場合、迅速にAEDを使用できる環境整備としてAEDの屋外設置の考えは。
総務安全課長 設置コスト、管理コスト、防犯の問題等課題も多く慎重にならざるを得ない。
問 施設設置以外で貸し出し用に配備する考えは。
総務安全課長 先進事例もあり今後検討する。



防犯カメラの設置を!!

【障がい児施策の充実】
問 発達障がい児の早期発見と発達障がい児に対する早期支援の方策は。
町長 1歳6か月児検診、3歳児検診時にフォロー教室や訓練会ひまわりにつなげる体制をとる等、早期支援に努めている。

問 訓練会ひまわりの今後の方向性と取り組みは。
介護福祉課長 訓練会ひまわりは平成28年度をもって閉所し、児童発達支援センターへの事業に展開していく。グレーゾーンの子どもに対しては「子育て支援部会」を立ち上げ保護者のケアも含め厚く支援できるように検討していく。

問 想定を超える豪雨等の場合の避難基準を町はなぜ設定しないのか。
町長 河川の監視情報や巡視の危険情報を総合的に判断し、数値基準だけでなく状況を加味した中で判断する。



町の洪水の守り神
—三角土手の水神様—

地方版総合戦略に町民の視点は

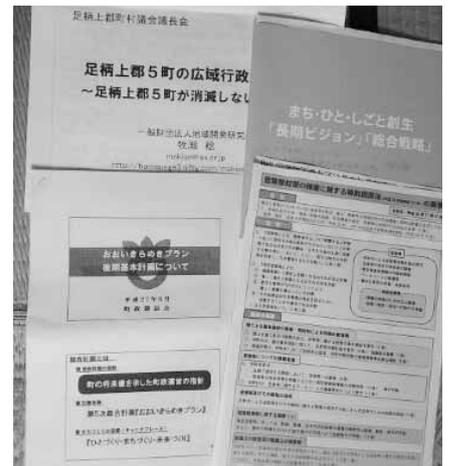
【答】パブリックコメント等で広く意見を収集する

神保 京子 議員



問 「大井町第五次総合計画」で平成32年度目標人口が18,000人としているが、本年4月1日人口は17,248人となっている。減少傾向は衰えている。計画とのかい離に対する方策を伺う。

町長 「大井町人口ビジョン」



資料

「を10月に策定。これを基に平成31年度までに目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示した「大井町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を12月1日付けで策定した。この総合戦略で人口減少や少子高齢社会への適応に向け、雇用環境創出・出生率向上に向けた取り組み等4つの基本目標を定めていく。

問 移住定住対策専門部署の立ち上げは検討しているか。

町長 専門部署の設置は現状難しい。

問 内閣府では地方創生コンシェルジュの派遣が出来るようだが検討は。

企画財政課長 関係会議

等出席してみたが、現時点では本町には当てはまらないと思う。状況に応じて検討していく。

問 転入者に対し、自治基本条例に即して自治会加入促進を行政から連絡して自治会に働きかける考えは

町民課長 今までは自治会に入って頂くよう促すだけだった。考えていく。

【空き家対策について】

問 空き家に対して24年に自治会長に調査依頼して、再度本年依頼したが、その目的は。

町民課長 空き家問題に対するデータを色々とマッピングし、プロジェクトチームを立ち上げて調査検討をしている。

「大井町版ネウボラ」で若者定住促進を

【答】「ネウボラおばさん」的な支援は行っている

小田 眞一 議員



問 大井町人口ビジョンの分析結果と課題は。

町長 45年後の人口を13,447人と定めた。効果的な施策を行うことが重要な課題と認識した。

問 無策のままでは人口は減少するばかりで、行政の多面的な負のスパイラルの起点となりうる。定住促進策は「未来への投資だ」との考えで推進するべきだ。なかでも若者の定住促進策は課題解決の要だ。住宅取得補助・家賃補助など近隣自治体とは大胆に差別化された支援事業で、魅力的な本

町のイメージアップとなる施策の考えはないか。

町長 費用対効果も研究し雇用の場の確保、交通の利便性向上、子育て環境の充実など一体的に展開していくのが肝要だ。

問 「大井町版ネウボラ」を創設して、妊娠から出産、子育てまで担当の保

健師によるアドバイザーと切れ目のない支援を行い、悩みや不安を取り除き、人口増と定住促進につなげたらどうか。国の予算も期待できる。好事例も示されている。近隣自治体に先駆けて実施しそれをPRすれば町のイメージアップにもなる。若者の人生の節目に選ばれる自治体となるためにも検討したらどうか。

子育て健康課長 現在、当課では3名の保健師が妊娠時から訪問・相談し、子育て期を卒業するまで関わり「ネウボラおばさん」的なことはやっている。町としては自立した手厚い支援を行っている」と認識している。



男鹿市保健センター内に開設された「おがっこネウボラ」(写真：秋田県HPより)

相互台にパークゴルフ場提案は

答 事業者としては考えていない

石井 勲 議員



問 28年度予算編成に当り職員に示された町長の考え、取組み方針を伺う。
町長 「おおいきらめきプラン」に掲げた施策や事業を着実に推進すること、一人ひとりがチャレンジと効果の見える仕事を、場合によっては過去の事業も大胆にリストラしても、更にやる気をだ



未病いやしの里センターとして再び脚光（ブルックス社所有地）

して欲しい。
問 町民税個人・法人と固定資産税の見込みは。また27年度当初予算に対して大幅に増額となった普通交付税の見通しは。
町長 個人分は所得の伸びや義務者の増により若干の増、法人は税制改正により減収、固定資産に關しては微増、国勢調査人口の減少見込みのため基準財政需要額の減少要因となるが、人口減少特別対策事業費等上げる要因もあり3億円を見込んでいる。
問 ふるさと納税、返礼品にひょうたん加工品は。
企画財政課長 ひょうた

ん加工品については目玉の一つとして考えている。
問 「未病いやしの里センター」整備事業の共同提案者としてパークゴルフ場の提案は。
町長 町は事業者としての参画は考えていない。ブルックスも関心は示されなかった。
問 行政のスリム化・効率化の先には新たな広域連携が必要と考えるが。
町長 我々は何時までもこういうような自治体運営をしていくことはできない。今後いろいろな角度からお互いに手を携えて進めていきたいと考えている。

問 平成28年度の税収見込みはどうか。
町長 個人住民税・固定資産税は増収を見込んでいる。法人町民税は減収になる見込みだ。軽自動車税・たばこ税は増収を見込んでいる。町税全体では約1・5%程度の減収になる。
問 「金子開成和田河原線」と「大井中央土地

問 平成28年度の町の重点事業は何か。
町長 「大井中央土地画整理事業」や「相和地域の活性化」、「未病いやしのセンター」への取り組み、また「町制施行60周年記念事業」への取り組みだ。



フェイスジョアを町の特産果実にする気はあるのか
 答 町は財政的な支援をして普及を図る

鈴木 武夫 議員



町の将来の特産果実フェイスジョアの実

画整理事業」の取り組みはどうか。
町長 「金子開成和田河原線」は平成27年度に引き続き、県警やJR東海と協議を行う予定である。その後、都市計画の変更等の手続き、工事内容等の住民説明会を経て、用地測量に着手することとなる。
問 「大井中央土地画整理事業」は換地設計を行う。造成工事は南地区側から着手する。平成28年度末には、周辺の景色が

だいぶ様変わりする。
問 平成28年度の合計特殊出生率の目標値はいくつか。
町長 目標は1・12になる。

問 「未病いやしの里センター」の取り組みは何か。
町長 都市計画法上の用途地域変更手続きを進める。
問 フェイジョアの取り組みを伺う。
町長 安定供給を図るため、生産者に財政支援を行い、いい方向に進展させる。
問 湘光中学校から湘光園に向かう道は私道である。町は対処しないのか。
町長 町の将来のために相手と交渉し買いたい。

議員研修・表彰

演題 脳はだまして使え
くやる気と記憶の秘密く

講師 東京大学大学院薬学研究所
教授 池谷 裕二 氏



平成27年11月20日に、二宮町において神奈川県町村議会議員研修会が行われた。

最初に池谷教授は、心はどこにあるか、心は一つではなく意識と無意識、少なくとも2つの世界があり、意識は飾りで水山の一角、無意識は広大であるとして話を始めた。意識と無意識を分かりやすく話すに当たり、テレビ等でご覧になった人もあると思う。目の錯覚で

起きる1色で書かれている絵が2色に見える画像を使い、無意識は真実を知っているのに意識により変えられている。と脳の中で起きている意識と無意識について様々な角度から話をされた。

次に記憶については、歳をとって記憶力が衰えたという人がいるが、年齢とともに記憶力は衰えない。私たちは若い時でも、今でも、物事を思い出せずに忘れてしまうことがある。これは、いろいろな情報が増えたり、覚える努力をしなかったり、覚えた情報を使わなからだとのこと。人の話を聞いた本を読んだりするだけではなく、覚

えた情報を沢山使うことで記憶に残ると言われた。最後に、池谷教授の話の中に「無意識は真実を知っている。意識は無意識を邪魔者として時には正しい情報が間違った情報となる。」と話された。私たちも、議員活動をして行く上で、真実をしっかり把握し、正しい情報を間違った情報にしないよう心がけていきたい。

曾根田 徹

自治功労者表彰

同日、多年にわたり議員として地方自治の振興に寄与された功績により、県町村議会議事長会会長から表彰されました。



清水議長
片野議員
小田議員

お知らせ
議会報告会

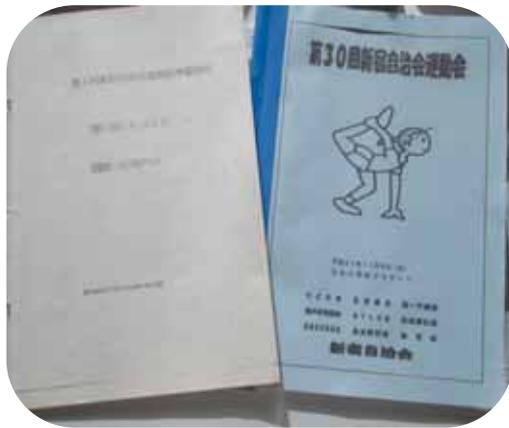
5月に次の日程で開催いたします。
ご予約ください。

| 期 日 | 会 場 | 内 容 等 |
|----------|--------------------|-----------------------------------|
| 5月19日(木) | そうわ会館 午後7時から | ・28年度予算の審査経過 ・委員会活動状況 ・意見交換 |
| 5月20日(金) | JA西湘大井支店 午後7時から | |
| 5月22日(日) | 生涯学習センター 午後1時30分から | |

● 町のこの人あの人 ●

体育会として初めて神奈川県体育功労者賞を受賞

新宿自治会 体育会



新宿自治会の体育会は、平成27年1月10日、神奈川県教育委員会から「平成26年度神奈川県体育功労者賞」を受賞しました。「自治会内での運動会、レクリエーションなど、地域スポーツの振興に努め、住民の体力づくりや地域コミュニケーションに大きく貢献している」ことなどが評価されました。自治会の体育会としてこの賞を受賞するのは初めてのことです。受賞祝賀会では町長や各方

面からたくさんのお祝辞をいただき、盛大な祝賀会になりました。新宿自治会体育会は昭和61年（1986年）に発足しました。県功労賞を受賞した昨年はちょうど30年目となる節目の年でした。



なつかしい「騎馬戦」

等はなくなりましたが、自治会員みんなが参加しやすい種目に変わってきました。毎年幼児からお年寄りまで楽しみにしている行事です。

現在体育会には、ソフトボール部や卓球部、バドミントン部等8つの部会があり、町の大会や金田地区大会等で各部とも素晴らしい成績を残しています。また、球技大会、バーベキュー会、ハイキング等を主宰して自治会員の親睦と絆を強

めてくれています。体育会には「大事なことは、いつまでも健康でいられる体力づくりと、人とのふれあいづくりを大切に考えていることです。みんなで良い汗をかきましょう」というメッセージがあります。

新宿自治会員数は約490軒・1500人ですが、自治会長は、「体育会のメンバーは積極的に自治会を引っ張ってくれている。自治会として嬉しい。」と話しています。体育会会長は現在5代目になりますが、先輩各位ご努力に感謝しています。体育会の皆さんにはこれからも新宿自治会のよきリーダーであることが期待されます。

編集後記

昨年9月、県が進める未病対策の拠点、「未病いやし」の里センター（仮称）がブルックスHDと大井町の共同提案が最優秀提案として採択されました。健康とにぎわいを提供する拠点商業施設として期待されます。同センターは、大井町の長年の懸案であった相和地域活性化への一石であり、また県西地域全体の活性化プロジェクトの一環でもあると言えます。

一方で、町は「町人口ビジョン」を策定し、公表しました。45年後の目標人口は1万3700人余りです。若い世代の転出を抑え、転入を促進しますが、その具休策はまずは「出産・子育て支援と地域で子どもを育てる環境整備」です。「夢おおい未来」を目指してしっかりとまちづくりをしていきたいと思います。

細田勝治



町政を知る良い機会です

議会傍聴にお越しく下さい

3月3日(木)午前9時 第1回定例会開催